

情勢報告（平成27年7月分）

中央東農業振興センター嶺北農業改良普及所

安芸・室戸地区農村女性リーダーとの交流



交流会の様子

6月23日、嶺北地域農村女性リーダー11名が安芸市で先進事例研修を行い、安芸・室戸地区の農村女性リーダーと交流しました。

参加者からは「安芸マ・ダムの日当は？」「仕込みはどのように行っているのか？」等の質問が出されました。

また、農村女性リーダーとして、地域の中で仲間と協力し活動することの大切さを感じるとともに、今後嶺北地区での活動を考える上での参考となりました。

今後も普及所は、農村女性リーダーの自主的活動を支援していきます。

第1回 嶺北地区農業改良普及推進協議会を開催

～ 普及指導計画や地域課題解決について検討 ～



普及推進協議会の様子

6月26日、普及指導活動の取組実績や今年度の計画について、農家代表とJA・町村等の委員からの意見を反映させる目的で普及推進協議会を普及所で開催しました。

会では、総合と個別課題を説明し、中山間農業複合経営拠点についても情報提供しました。

全体討議では、特に新規就農者の確保育成についての話題が中心となり、委員からは「最近の就農希望者は価値観が多様なので、受入側も考え方を変えなければいけない」「山間地でどのような提案書を作成できるか」「研修後、スムーズに就農へつなげるための環境づくりが大事」「Uターン希望者へも支援体制の充実を」など、活発に意見が交わされ、課題を共有することができました。

ブランド米「土佐天空の郷」研修会を開催



現地巡回の様子

6月30日、本山町特産品ブランド化推進協議会はブランド米「土佐天空の郷」の現地巡回及び研修会を開催しました。今年は新たな活動として、ブランド米の品質を維持する目的で、生育前期に実施しました。

講師に農研機構・連携普及部の統括コーディネーターの坂井氏を招き、「にこまる」に対して現時点の注意事項や栽培暦等作成へのアドバイスをいただきました。普及所からは、生育調査等の報告を行いました。

参加した生産者からは、「にこまる」の開発者から直接指導を受け、「高品質栽培への意欲が高まった」などの声が聞かれました。

次回の現地巡回指導は、7月下旬に実施します。

大川村4集落に、自動カメラを設置



自動カメラの設置場所の検討

7月2日、大平、南野山などの大川村4集落に鳥獣の出没状況を把握するためにセンサー付き自動カメラを設置しました。これらの地区は、近年猿による農作物被害が急増しており、以前から住民の被害対策の要望があったことを受け、地域住民、鳥獣被害対策専門員、大川村、四国自然史科学研究センター、普及所などが協力し実施しました。

今後、自動カメラで撮影した映像をもとに各集落で勉強会を開催し、鳥獣に応じた具体的な対策を検討していきます。

カラーピーマン部会が目慣らし会を開催



収穫の着色度合を確認！

7月8日、JA土佐れいほく園芸部カラーピーマン部会（三色ピーマン、赤ピーマン、パプリカ）の目慣らし会が本山町で開催され、農家31名が参加しました。

会は、収穫の始まった農家のハウス（三色ピーマン）で行われ、斜め誘引の方法についてベテラン農家が新規参入者に教えたり、農家間で生育状況を確認するなど、活発な意見交換が行われました。その後、目慣らし会では、収穫するための着色度合や市場事故防止について確認しました。

普及所からは、夏季の高温対策や収穫最盛期の灌水・追肥方法、誘引などについて指導しました。

7月初めから収穫が始まっており、今後8～9月に最盛期に入る見込みです。